

## 令和7年度第2回北海道秋季クラブ選手権大会規定

1. トーナメント方式とし、試合球はナガセケンコー(株)製「健康ボールM号」とする。
2. 大会期間は10月12日(土)～10月19日(日)の土日及び、25日・26日を予備日とする。雨天等によって大会日程に変更が生じた場合は大会本部の決定に従うこと。
3. 試合は7回または90分で新しいイニングに入らないこととする。なお、準決勝・決勝は7回または100分で新しいイニングに入らないこととする。(後攻チームが攻撃中、勝っている時点でタイムアップとなった場合は試合を終了する。)
4. 規定時間及び回数までに勝敗が決着しない場合「特別延長ルール」を適用し、最長2イニングまで行うものとする。ただし、準決勝・決勝は3イニングまで行うものとする。それでも勝敗が決しない場合は抽選で勝敗を決定する。
5. 「特別延長ルール」は無死走者1・2塁、打者は前イニングからの継続とし、走者はその打者からさかのぼった打順からそれぞれ1塁走者・2塁走者とする。  
(例) 特別延長初回の攻撃、その前のイニングが4番打者で終わった場合、5番打者からスタートし、走者は1塁に4番打者、2塁に3番打者がそれぞれ塁につく
6. 5回以降7点以上の差があるときは、コールドゲームを採用する。(決勝戦は除く)
7. 試合開始後、雨等による試合の続行が審判員によって不可能と判断された時、5回表の攻撃が完了して、後攻チームが勝っている場合は、成立試合としてコールドゲームを宣言する。  
それ以前において中止された試合は、成立試合とならず再試合とする。
8. ベンチに入れる者は、事前に登録されていえる代表・監督・コーチ・スコアラー・マネージャー・選手とする。スコアラー及びマネージャーは選手が兼ねることができる。
9. 投手の投球制限については、大会1日7回までとする。
10. 試合の投球練習は最初に登板した時のみ5球とし、それ以降は3球とする。
11. ベンチは組合せ番号の若い方を一塁側とする。
12. 危険防止のため、捕手は試合、投球練習・ブルペンに関わらず必ずレガース・ヘルメット・プロテクターを着用すること。ファールカップも着用のこと。
13. バッター及びランナーは必ずヘルメットを着用すること。(ランナーコーチもヘルメットを着用すること。)
14. 抗議は、監督だけが行うことができる。ただし、ストライク・ボール・アウト・セーフ・ボークに対する抗議は認めない。また、必要以上の抗議は認めない。
15. その他の競技規則は、全日本軟式野球連盟のルールに基づくものとする。
16. 試合前のシートロックは行いません。
17. オーダー交換は、第1試合目は試合開始予定時刻の30分前、2試合目以降は前の試合の4回終了時に本部席にて行います。

18. ブルペンの使用は前の試合の4回終了後以降とします。
19. 1塁側のチームにてアナウンス、3塁側のチームにて得点板をお願いします。
20. ボールボーイは当該チームにて、それぞれ自チーム側をお願いします。
21. グラウンド整備は試合が終了した両チームで行ってください。
22. 試合進行状況により試合開始時間を早めることがございますが、最大でも試合開始予定時刻より30分前までと致します。

NBJ 北海道 大会実行委員会